



2025年12月 4日
第084号

JR東労組 Yokohama



JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

イーハトーブ

10月31日に「えん罪！JR浦和電車区事件を風化させず、あたり前の労働運動を推し進める10・31集会」に参加してきた。改めて「えん罪！JR浦和電車区事件」から23年が経過したことを捉え返した。

2002年11月1日浦和電車区に勤務していた7名が不当にも逮捕された。理由は強要罪である。当時、当たり前の組合活動として組合員を諭したことをもって344日間勾留された。

勾留中には、自白を強要され、本質は強要罪に対しての取り調べが目的ではなく、「労働組合が平和運動するなんて生意気だ」「組織を半分にしてやる」と検察から言われたことから、罪状の強要が目的ではなく、平和運動を真面目に推し進めるJR東労組に対する国家弾圧であつたということであつた。

国家弾圧であつたにも関わらず、多くの仲間との連帯によってたたかい抜き、今なお組織は存在している。

政権も変わり、戦争のできる体制づくりに大きく舵を切りはじめた今日、我々は何をすべきか、諦めず声を出し続けていくことである。諦めれば容認したのと同じである。

社会情勢の中で本質や真実を見抜く力を養い、あたり前の労働運動を真面目に推し進めることが、労働者が労働者として生きていく術ではないか。

(K・I)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っています。